

1. 研究課題名：

地上レーザーを用いた森林域での自然災害評価法の確立

2. 研究代表者氏名及び所属：加藤 顕

(国立大学法人千葉大学 園芸学研究科)



3. 研究実施期間：平成 27-29 年度

4. 研究の趣旨・概要

森林モニタリングにおける現地調査データ取得は、多大な労力が必要とされる。最近では地上レーザー技術により、森林を 3 次元解析できるようになった。本研究では、費用がかかりデータが取得できないような遠隔地の森林を対象とし、地上レーザーを導入し、3次元データを取得することにより森林モニタリング精度を向上させる。

森林モニタリングにおける未解決の重要課題は、自然災害地の詳細な状況把握である。地上レーザーを自然災害地に導入することで、自然災害地の被害度を把握する。得られた詳細な結果を ALOS 2 によるレーダー画像の解析結果と比較をする。これら最新の技術を用いて、自然災害地での被害度を評価する手法を本研究では確立する。

5. 研究項目及び実施体制

①地上レーザーを用いた森林域での自然災害評価法の確立 (国立大学法人千葉大学)

6. 研究のイメージ

